

Yoko Okazaki

Kimio Nakao

Mitsutaka Tanimoto

●エイブル・アート 2009

Life Map

—— 私とワタシ ——

期 間 2009年2月11日(水) ▶ 3月29日(日)

時 間 10:00 ▶ 20:00 [無休]

場 所 ギャラリー アートリエ

福岡市博多区下川端町3-1 博多リバレイン地下2階

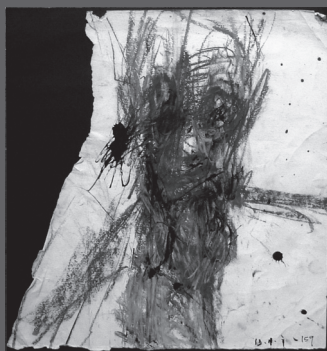
入場
無料

出展作家／中尾君夫(東京)・谷本光隆(長崎)・岡崎陽子(福岡)



中尾 君夫(なかお きみお)

東京在住。10代で発病し、病院のレクリエーションで暇つぶしに「絵らしい絵」を描いていたが下手なので、満たされなかった。元来、冗談が好きな性質だったので、お笑いネタと簡単な絵柄を描いてみたら、周りからウケてそれ以来、嬉々として量産する。「我が国の問題」から「くだらないダジャレ」まで、なんでも描いた。また、キビシイ時をしのぐ思考や幻聴めいた頭の中のうるさい声などからも「漫我」にした。そうすると救われる。「漫我」というのは、自我と他我(他人の中の自分)の間にあるものとして自称している。描かずにはいられない。「マイナスの魅力」「負の輝き」といったものを目指している。今回は「即興漫我」に挑戦する。



谷本 光隆(たにもと みつたか)

長崎県在住。東京理科大学を中退後、昼夜逆転の生活を送る。極度の疲労、不眠などからノイローゼ状態となり病院で「思考障害」と診断される。その後アルバイトを転々とするがなかなか続かず、病気になる前から続けていた絵画を6年のブランクの後に描き始め、その後カラージュブク制作へと変化する。現在まで数多くの個展やグループ展に出展。また今年は、サンフランシスコにある「San Francisco Center for the Book」での企画展にも出展されている。[[「治る 治らない」は、自分にとってどうでも良い。一度きりの人生、自分にしかできない表現を模索しつつ、百歳まで続ける]]と作品を制作することが生きがいとなっている。



岡崎 陽子(おかざき ようこ)

福岡在住。北海道札幌市で生まれ、幼い頃からレゴブロックやパズル、教材誌の付録などに興味をもつ。紆余曲折のち、九州大学工学部に入学するも病にて中退することとなる。遺跡発掘などのアルバイトを転々とし、心理学教授の勧めで20歳くらいから絵を描き始める。現在は病院のデイケアに通いつつ、アパートで一人暮らしをしている。治療として取り組んだ絵画だったが、今では自宅にて2~3時間ほぼ毎日描いている。2002年より家族の影響から短歌を書くようになり、現在でも新聞社へ毎週投稿し、常連となりつつある。人を喜ばせたいという気持ちより、人から褒められたい。できれば「奇妙」「不思議」などという言葉で・・・。

エイブル・アート事業について

財団法人福岡市文化芸術振興財団は、2004年にギャラリーのオープニングを飾る展覧会として「エイブル・アート～可能性の芸術」展を開催し、以来年度ごとにエイブル・アートのムーブメントを紹介する展覧会を開催してきました。私たちの財団はアートを通じて人と人をつなぐというミッションを持っていますが、エイブル・アートの数々の試みは、まさにそれがなければつながらなかった人と人をつなぐ活動として、取り組んでいくべき事業だと考えています。また多様性を許容する地域社会に向けて「違い」について思いをめぐらせるきっかけとなったり、違いは豊かさだと発見できるような機会を提供していくことを目指しています。福岡には福祉やアートの枠を飛び越えて、自分たちの暮らす街の状況に果敢に働きかける人たちがいて、それぞれ面白い活動を行っています。展覧会やトークイベント、公演を通じてその活動を知ってもらい、彼ら同士、あるいは彼らと見に来た人たちがつながる場を、これからも作っていききたいと思います。

お申し込み
お問い合わせ先

文化芸術情報館アートリエ <(財)福岡市文化芸術振興財団>(担当:宮崎)
〒812-0027 福岡市博多区下川端3-1 博多リバレイン地下2階
TEL 092-281-0081 FAX 092-281-0114 E-mail plaza-a@ffac.or.jp

展覧会主旨

この展覧会では、5人の「こだわり」を観せていきます。

わけもなく好きで好きでしょうがない、これをやり出すとどうにも止まらない。

そういった突出した何かへの関心、興味、思い入れは、誰もがひとつは持っている、もしくはかつて持っていたもの。

大人になると人前では止められてしまうようなこと、それをはばかりなく「思う存分やる」となったらどうなるのか。

——きつとてつもなく面白いのではないか。

その人のごく私的な世界、他の人が見てもよく分からないかも知れない。

よく分からないけれど、なにかひっかかる。

関連企画

ギャラリートーク

2009年2月21日(土)15:00~16:00

会 場:ギャラリー アートリエ

参加費:無料

出演者:岡崎陽子、谷本光隆

聞き手:樋口龍二(特定非営利活動法人まる 代表理事)

内 容:今回の出展作家2名を招き、作品制作に至るまでのエピソードもとに、参加者を交えたトークを行います。

アートパフォーマンス

2009年3月7日(土)・8日(日)14:00~17:00

会 場:ギャラリー アートリエ

参加費:無料

出演者:中尾君夫

内 容:中尾君夫が即興4コマ漫画をライブで披露。みなさまからお話をいただき、即興で4コマを描き上げるパフォーマンスを行います。

映画上映会

2009年3月15日(日)①13:00~14:45 ②16:00~17:45(1日2回上映)

会 場:あじびホール(福岡アジア美術館 8階)

定 員:120名×2回

参加費:一般:1,000円(前売 800円)、学生:700円(前売 500円)

※障害者手帳をお持ちの方は学生料金となります。

内 容:精神に障害のある作家10名が共同生活しているオーストリア、ウィーン郊外グーグ村の「芸術家の家」。そこで繰り広げられる奇妙で優しさにあふれる日常を、秋から冬のウィーンを背景に美しく静謐な映像の中に描き出すドキュメント作品。

監督・編集/五十嵐久美子

撮影/山崎裕 録音/吉田一明 音楽/近藤等則 宣伝美術/川上修

プロデューサー/橋本佳子・長窪正寛 エグゼクティブプロデューサー/河野透

現像/イマジカ 協力/オーストリア航空

製作/デジタルメディアエンタテインメント・ドキュメンタリージャパン

1999年/日本/イーストマンカラー/16mm/86分



前売チケット購入・お問い合わせ先

①メガチケットアートリエ/福岡市博多区下川端町3-1 博多リバレイン地下2階 TEL 092-281-0081

②NPO法人 まる/福岡市南区野間3-19-26 TEL 092-562-8684

※前売チケットは店頭販売のみとなっております。

鑑賞ワークショップ

2009年3月22日(日)15:00~17:00

会 場:ギャラリー アートリエ

定 員:20名(要申し込み)

参加費:無料

ファシリテーター:ギャラリーコンバ

福岡で視覚障がいのある人たちと、目の見える、見えないといった互いの個性を活かし、一緒にアートをシェアしているワークショップグループ。

内 容:視覚に障がいのある人たちと個々の感性でコミュニケーションを愉しみながら五感でみる鑑賞ワークショップを行います。

展覧会「Life Map+」(仮称)

2009年3月23日(月)~4月5日(日)11:00~20:00

会 場:紺屋2023 2Fギャラリー

参加費:無料

出展作家:岡崎 陽子(福岡)、谷本 光隆(長崎)、中尾 君夫(東京)

内 容:出展作家3名の作品を生み出しているアトリエを再現します。

Life Map 私とワタシ